

これまでにいただいたご意見・ご質問

※回答番号は、別紙「地元説明会ご意見と回答」に掲載した番号です。

ご質問
堤防ルートで、管理用通路をつくらず廃線跡だけを利用すればいいのでは？

回答 2

ご意見
町の住民が安心して暮らせるためには、何年かかるかと堤防ルートにするべきだと思ふ。

回答 2

ご意見
堤防ルートの工期が25年もかかるのは待てない。10年以内に行ける方法を考えてほしい。

回答 2

ご意見
商工業の発展や、弓市に立ち寄ることで消費拡大を繋がるかと考え、堤防ルートを推進してほしい。

回答 2

ご意見
工期を含め、対岸ルート以外は現実的に厳しいと感じた。まちなかの移転で空洞化してもいけないと思ふ。

回答 4

ご意見
工期、費用、移転の面から対岸ルートがよい。早期実現を期待する。

回答 4

ご意見
弓市の最重要課題のひとつである堤防の強靱化と、道路は区別し、対岸ルートで早く進めてほしい。

回答 4

ご意見
10年以内の完成を目標とする対岸ルートは高齢者にとっても希望のあるルートだと思う。

回答 4

ご意見
川本大橋を架け替えて町内に入りやすいようにしてほしい。

回答 3

ご質問
対岸ルートの場合、まちに入る時は今の川本大橋を利用するという考えでよいのか？

回答 3

ご質問
山側ルートや堤防ルートにした場合でも、東大橋撤去はしなくてもよいのでは？

回答 3

ご意見
川本町を支えてきたのは商業で、対岸ルートになると商業の衰退が加速するのではないかと。産業への影響が大である。

回答 1

ご質問
中央高校から木路原にバイパスを通して多田地区に橋をかけるルートを検討してほしい。

回答 5

ご質問
「山側ルート」・「堤防ルート」では「大田一広島間の連絡向上には別途県道の整備が必要」となっているがどこのことか？

回答 6

すべてのご意見は、別紙「地元説明会ご意見と回答」をご覧ください

8/20メ切でご意見を募集しています。ぜひご意見をお寄せください。

【用紙】 県央県土整備事務所・川本町にご意見記入用紙をご用意しています。

※住所・氏名・電話番号・ご意見が記入してあれば任意の様式でもかまいません

【提出先（県）】 持参・郵送・FAX・メールで受け付けます。

島根県 県央県土整備事務所 土木工務第一課 担当：福頼（ふくより）
 (郵送) 〒696-8510 邑智郡川本町大字川本 265-3 (FAX) 0855-72-2373
 (メール) keno-kendo@pref.shimane.lg.jp

【提出先（町）】 持参で受け付けます。川本町 地域整備課 担当：伊藤

町内3地区で地元説明会を開催しました

川本工区の3ルート案（山側・堤防・対岸）について町民の皆様のご意見を伺うため、6/16（水）～18（金）にかけて地元説明会を行いました。

参加者は全体で108名、その主なご意見は「まちの発展も考えてほしい」「道と堤防をあわせて整備すれば堤防の完成を実現できるのではないか」「なるべく早く完成してほしい」といった内容で、まちの将来にとって最もよいルートはどれか、真剣に考える時間となりました。

説明会後も、広報紙と一緒に配布した「ご意見記入用紙」の提出があり、関心の高さが伺えます。

ルート案に対するご意見は、パブリックコメントメ切の8/20まで募集しますので、ぜひご意見をお寄せください。

最終的なルートは、地元説明会でのご意見や意見書、パブリックコメントなどを踏まえ、川本町と協議を行いながら決定していきます。



6/16(水) 川本会場：悠呂ふるさと会館大ホール



6/17(木) 因原会場：西公民館



6/18(金) 三原会場：三原まちづくりセンター



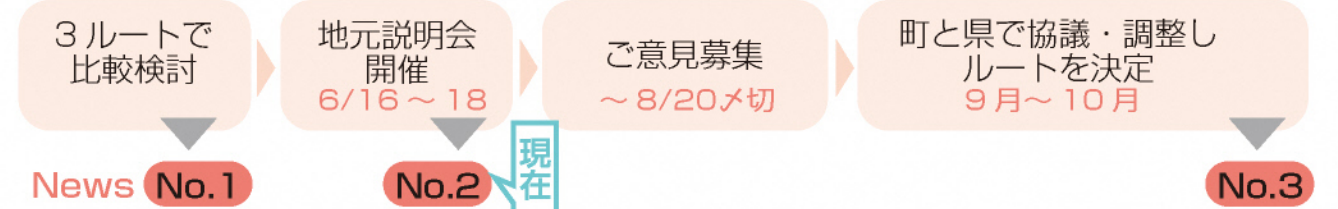
コロナ対策

マスク着用
消毒・検温を徹底し
説明会を開催しました

開催日	会場	参加者数	ご意見記入用紙提出数
令和3年6月16日(水)	川本会場	68名	12件
令和3年6月17日(木)	因原会場	26名	1件
令和3年6月18日(金)	三原会場	14名	3件
説明会後にお寄せいただいた意見	-	-	11件

※ご意見は、7月26日までに届いたもの

全体スケジュール



説明会での主なご意見

3つのルートの詳細内容は、「ニュース第1号」をご覧ください。

お手元がない場合は、お気軽に「県央県土整備事務所」「川本町役場」にお声がけください。

まちの発展には 山側ルートがよいのでは？



【ご意見の詳細】

- ・ 早期に実現してほしいが弓市の商業が衰退することを考えると25年かかっても山側ルートがよい。
- ・ 川本町の産業を支えてきたのは商業で、対岸ルートにすると商業の衰退が加速するのではないかと。悠邑ふるさと会館へのアクセスも容易であるため山側ルートが良いと思う。

当日の回答（要約）

- ・ 今回、特に検討をしたことは、弓市の交通安全に加えて、平成30年・令和2年の水害で弓市が孤立寸前になったこと、早期事業化・早期完成をさせたいということなどで、これらを総合的に考慮しています。
- ・ 弓市の衰退は町の衰退であり、弓市地区のまちづくりはすぐにでも進めていかなければならないと考えています。

説明の補足

弓市地区は、令和3年3月に策定された「第6次川本町総合計画」において、魅力向上を重点プロジェクトの一つとして掲げています。

魅力向上のためには、次の2つの課題があると記載されています。

- ①近年、空き家・空き店舗、遊休施設の増加が進むことにより町の賑わい低下が懸念される
- ②まちの中心部の狭い道を大型車が通行する現状があり、高齢者、通学生を含む歩行者の安全確保

県としては、大型車等の通過交通を早期に排除できる対岸ルートを推奨していますが、川本町にも意見を聞きながら、最終的にルートを決定したいと考えています。

何よりも安全を考えると、あわせて 整備できる堤防ルートがよいのでは？



【ご意見の詳細】

- ・ 堤防のかさ上げを強く要望する。道路とあわせて整備してほしいので堤防ルートがよい。
- ・ 移転による人口流出を抑えるため、管理用通路を作らないで堤防ルートにすることはできないのか。
- ・ 堤防ルート以外（山側ルートや対岸ルート）では、かさ上げをしないということか。

当日の回答（要約）

- ・ 堤防は国土交通省が管理をしており、かさ上げにあわせて道路を整備するため、その調整に時間がかかり、国が行う堤防のかさ上げを待つ状況になります。
- ・ 管理用通路については、事前に堤防の管理者である国土交通省に確認を行い「必要である」との回答をもらっています。

説明の補足

国土交通省では、江の川の治水対策を計画的に進めています。江の川下流（島根県区間）では、近年2度の浸水被害が発生しており、国土交通省において浸水した箇所をはじめとし、重点投資により河川整備を進めています。

また、兼用道路として設置する場合に、「河川の管理用通路を別途設置する必要がある」こともあわせて確認しています。

堤防のかさ上げの着手時期は堤防管理者である国土交通省の判断によります。また、堤防ルートの場合、堤防のかさ上げを単独で行うよりも家屋移転が多くなり、より時間を要するおそれがあります。

川本町は国に対して早期の堤防整備を要望しています。県としても、江の川の治水対策については、引き続き国へ対して必要な予算確保と事業の加速化を求めています。

なるべく早く完成する 対岸ルートがよいのでは？



【ご意見の詳細】

- ・ 早期に完成する対岸ルートが一番よい。ただし、長いトンネルなので安全性を心配する。
- ・ 近年の浸水被害で県道の通行止めが発生した事実を踏まえると、災害時に対応できる道路の構築が一番である。
- ・ 対岸ルートの場合、まちの中に入る時は今の川本大橋を利用するのか。

当日の回答（要約）

- ・ 災害時に通行止めが発生し、孤立寸前になっていたことは大きな問題であり、それらを早期に解決すること、また谷戸地区（川本大家線）のかさ上げも同時にできることが一番よいのではないかと判断で、県はこのルートを推奨しています。
- ・ 今の川本大橋は建設してからそれなりの年数が経っており、県では、これをメンテナンス（長く使うために改修）しながら使っていく予定です。

説明の補足

平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨による冠水被害等も踏まえ、治水上も安全な幹線道路ネットワークの整備・構築が必要であると考えています。

なお、ルート決定後、トンネル等の重要構造物は詳細設計を行い、線形や安全性の検討を行います。

県は、災害時にも対応でき、早期完成が見込め、かつ家屋移転等の影響が少ないルートとして対岸ルートを推奨しています。今後、川本町と協議・調整を行った上で最終的にルートを決定します。